

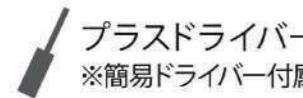
# 取扱・組立説明書

・スチールラック(表面)  
・オプション(裏面)

## YS 軽量ラック シリーズ 耐荷重120kg/段

この度は、軽量ラックYSシリーズをお買い上げいただき誠に有難うございます。  
右記の手順にしたがって正しく組み立てを行ってください。  
本製品は金属製品ですので取り扱いには十分注意していただき、手袋などの保護具を装着の上、2人以上の組み立てを推奨しております。

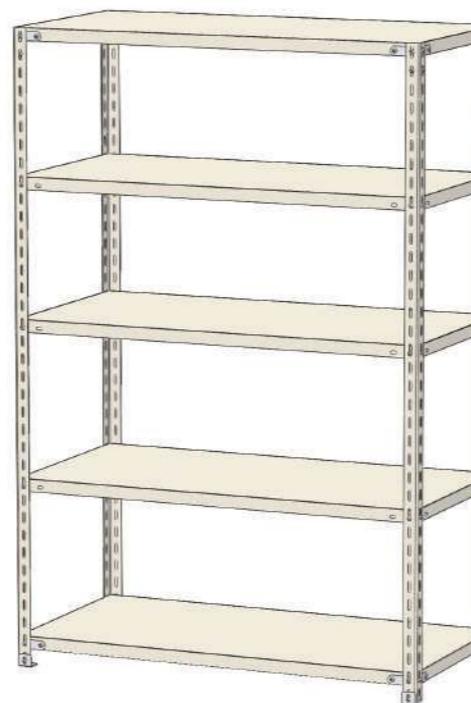
組み立て時に  
必要なもの



プラスドライバー  
※簡易ドライバー付属



軍手/保護用手袋



上記イラストは5段のイメージです

支柱	× 4	棚板	× 段数分	コーナープレート	× 8
脚先金具(ベースプレート)	× 4	ボルト&ナット	× 中段数×8 + 48	BCフック	× 中段数×4

※「ボルト&ナット」と「BCフック」の使用数は、中段の取付け方法によって変わります。

### 組み合った棚板の取り外し方法

- ①上側になる棚板の長辺両側の中央部分を両手で持つ。
- ②下図のとおりに棚板を開くように少しだけ片側を持ち上げる。
- ③そのまま真上に持ち上げる。



角を持ったり強引にはがそうとすると傷や破損の原因となります。

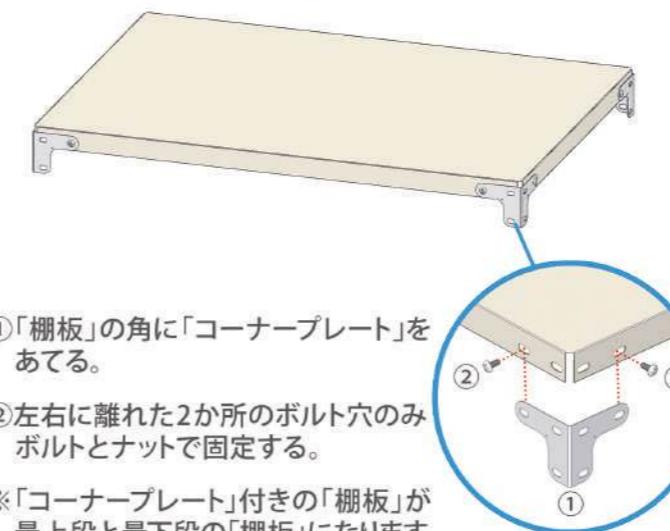
※W1800×D600mmの棚板は大変重たくなっておりますので、2人以上の作業を推奨しております。

### 注意事項 下記の注意事項をご確認の上、正しい方法にて組み立て、ご使用ください。

- ・スチールラックのオプション品を取り付ける際は、組み立て手順が変わる可能性があります。オプションの取付説明書を合わせてご確認ください。
- ・耐荷重は等分布静荷重にて1段あたり最大120kgです。(BCフックを利用した場合は耐荷重は100kg/段)
- ・2人以上の組み立てを推奨しております。
- ・集中荷重や耐荷重以上の荷重を加えないでください。
- ・組み立てる前に、部材に破損・変形等が無いか確認してください。
- ・ボルトやナットが緩んだ状態で使用しないでください。
- ・ボルトを締める際にドライバーとスパナを併用し、ナット側をスパナで締めるとより強く固定できます。
- ・正しく組み立てられた状態でご使用ください。
- ・破損、腐食、改造など通常とは異なる状態での使用はおやめください。
- ・棚本体に寄りかかったり、よじ登ったりしないでください。
- ・製品の穴に指を入れないでください。
- ・危険物を収納しないでください。
- ・本製品を第三者へ譲渡や貸し出しを行う際は本取扱・組立説明書もあわせてお渡しください。

1

コーナープレートを  
棚板2枚に取り付ける。



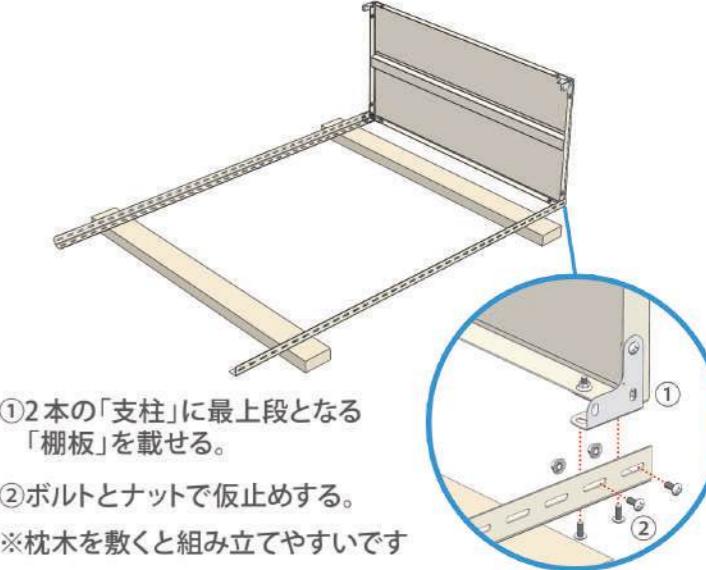
①「棚板」の角に「コーナープレート」をあてる。

②左右に離れた2か所のボルト穴のみボルトとナットで固定する。

※「コーナープレート」付きの「棚板」が最上段と最下段の「棚板」になります。

2

コーナープレート付き棚板を  
支柱に取り付ける。



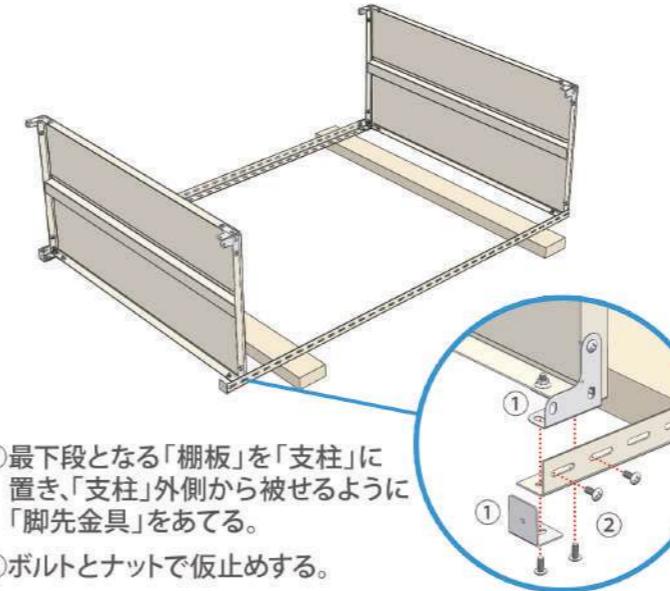
①2本の「支柱」に最上段となる「棚板」を載せる。

②ボルトとナットで仮止めする。

※枕木を敷くと組み立てやすいです

3

コーナープレート付き棚板と  
脚先金具を取り付ける。

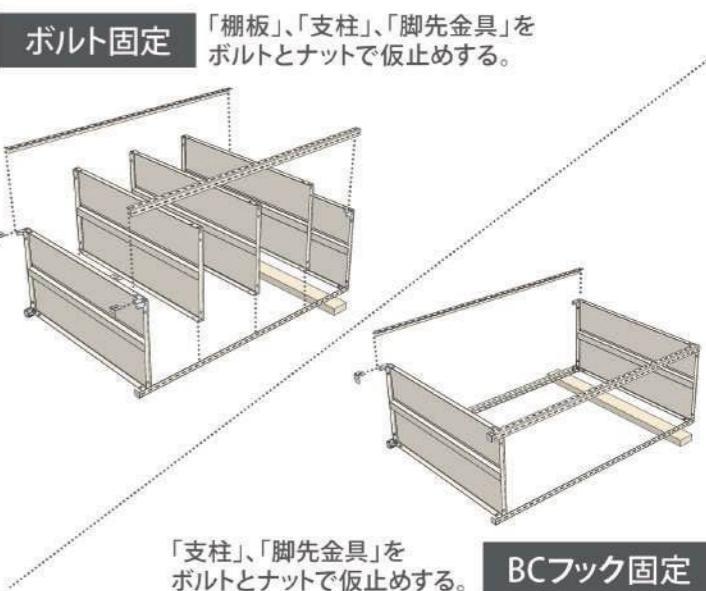


①最下段となる「棚板」を「支柱」に置き、「支柱」外側から被せるように「脚先金具」をあてる。

②ボルトとナットで仮止めする。

4

組み立て方法に合わせて  
支柱や棚板を取り付ける。



ボルト固定

「棚板」、「支柱」、「脚先金具」をボルトとナットで仮止めする。

ボルトを本締め後に  
BCフックで棚板を取り付ける。

5

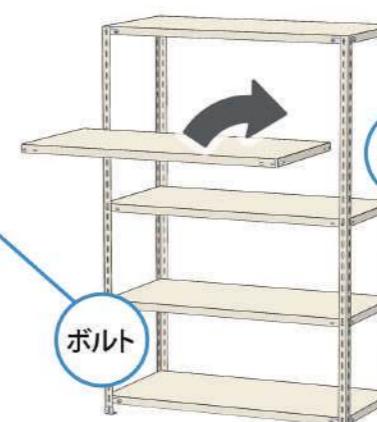
ボルトを本締めする。

BCフック固定

- ①ゆっくりと棚を起こし、全体のバランスをとりながら、最上段と最下段のボルトを本締めする。少しづつ増し締めすることでバランスがとりやすいです。
- ②中段の固定方法に合わせて、下記の手順に進んでください。



「棚板」が水平になるように、ボルトを本締めする。最上段・最下段と同じように少しづつ増し締めしていくとバランスがとりやすいです。



「支柱」の穴に、高さが揃うように1段あたり4つの「BCフック」を引っかけて、上から「棚板」を置きます。ボルト固定とは違い、「棚板」の高さ変更が容易に行えます。